

MARIO GIACOMELLI

白、それは虚無。黒、それは傷痕。^{きずあと}

展示作品リスト

「初期写真」 Prime foto, 1950s, セニガッリア, 40×50cm×5点

上陸 L'approdo, 1953

リンゴのある静物 Natura viva con morta, 1957

船乗りの娘 La figlia del marinaio, 1957

人間嫌い Il Misanthropo, 1954

わが妻 Mia moglie, 1957

「死がやって来ておまえの目を奪うだろう」 Verrà la morte e avrà i tuoi occhi, 1954-68, セニガッリア, 40×50cm×16点

「スカンノ」 Scanno, 1957, 59, スカンノ, 40×50cm×15点

「ルルド」 Lourdes, 1957, 59, ルルド, 40×50cm×7点

「シルヴィアへ」 A Silvia, 1987, 40×50cm, レカナーティ, セニガッリア, 40×50cm×16点

「私にはこの顔を撫でてくれる手がない」 Io non ho mani che mi accarezzino il volto, 1961-63, セニガッリア, 40×50cm×15点

「男、女、愛」 Un uomo, una donna, un amore, 1960-61, セニガッリア, 40×50cm×11点, 96.5×24.2cm (5点組)

「風景」 Paesaggi, 1960s-2000, マルケの野, 40×50cm×32点

*「風景」のシリーズに関しては、個々の作品のタイトルに多くの変遷があったため本展においては「風景/Paesaggi」という表記に統一しました。

「帰還」 Ritorno, 1999-2000, セニガッリア, 40×50cm×16点

「新しい移民たちの歌」 Il canto dei nuovi emigranti, 1985, カラブリア州, 40×50cm×15点

「私は誰でもない!」 Io sono Nessuno!, 1992-94, セニガッリア, 40×50cm×14点

「死がそうであるように」 Così come la morte, 1999, セニガッリア, 40×50cm×7点

「詩のために」 Per poesie, 1980s-90s, セニガッリア, 40×50cm×33点

*「詩のために」の写真は、日頃、詩の断片として、将来の物語=写真のシリーズになるかもしれないということで長期間にわたって撮影されたものです。

「善き大地」 La buona terra, 1964-66, マルケの野, 40×50cm×8点

● 展示作品は、すべてジャコメリの手によりセニガッリアの彼の暗室で焼かれたゼラチン・シルバー・プリントです。

● 展示作品は、すべてセニガッリアのArchivio Mario Giacomelliの所蔵です。

● 展示作品の総数は215点になりました。

● 作品タイトルの表記は本展に関連する写真集(青幻舎版)に準じています。

THE BLACK IS WAITING FOR THE WHITE

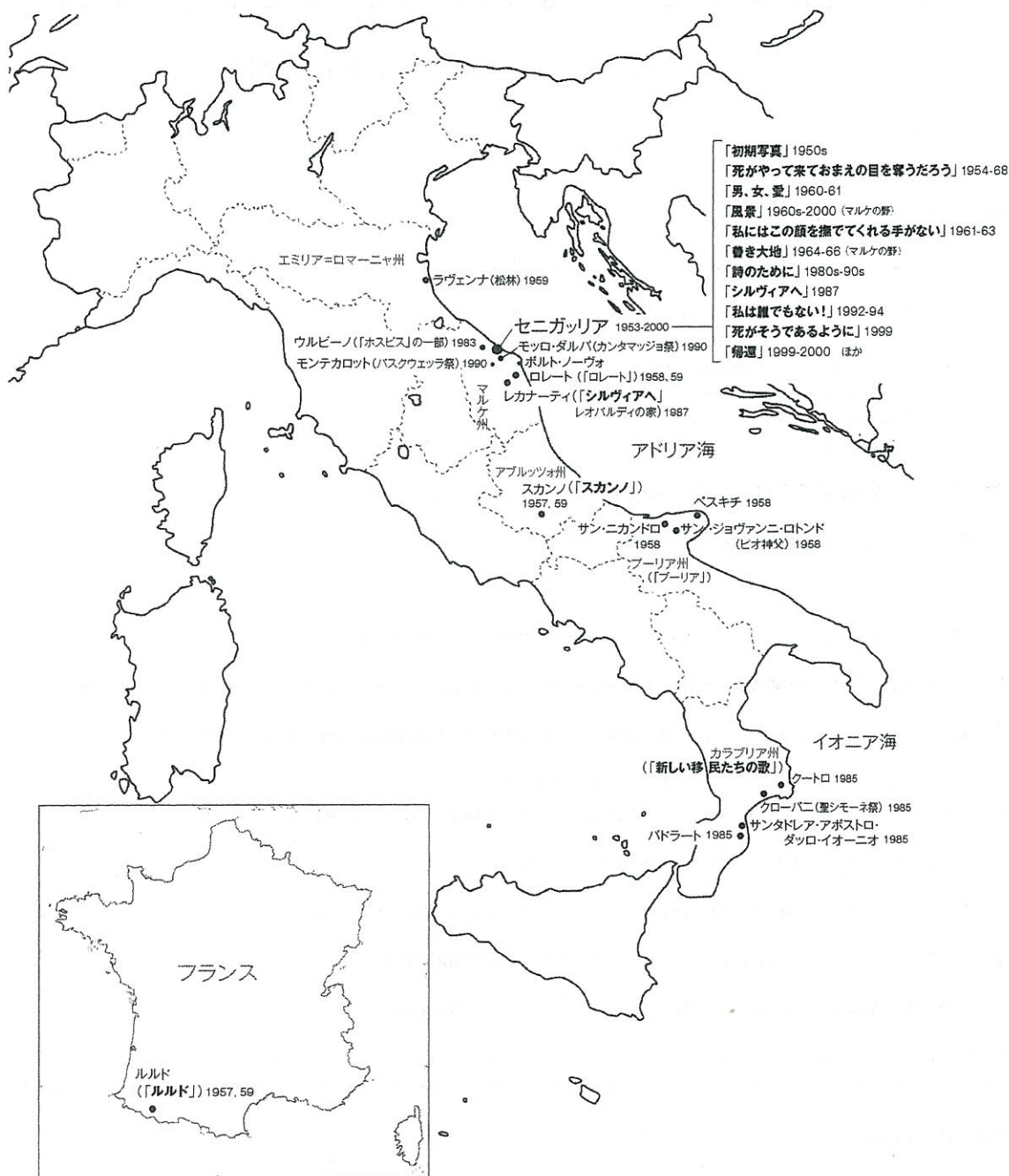
東京都写真美術館

マリオ・ジャコメリ写真展

2013.3.23 sat.—5.12 sun. Tokyo Metropolitan Museum of Photography

マリオ・ジャコメッリの主な写真撮影地

太文字は本展示シリーズ作品名



[マリオ・ジャコメッリ展関連イベント]

■ マリオ・ジャコメッリ展スペシャルトーク

3月23日[土] 13:00~14:30 B1F展示室(定員30名)
 アレッサンドラ・マウロ氏(本展キュレーター)×
 伊勢功治氏(グラフィック・デザイナー、桑沢デザイン研究所非常勤講師)

■ 細江英公氏(写真家)による全2回のギャラリートーク

1) 3月30日[土] 14:00~15:00 B1F展示室
 2) 4月27日[土] 14:00~15:00 1Fアトリエ(定員70名)

■ 鈴木芳雄氏(編集者)とゲストによる全3回の連続対談

1) 3月31日[日] 14:00~15:30 ゲスト: 町口覚(アートディレクター)
 2) 4月 7日[日] 14:00~15:30 ゲスト: 大竹昭子(文筆家)
 3) 日程調整中 14:00~15:30 ゲスト: 原基晶(イタリア文学者)
 会場: 2階ラウンジ(定員50名)

対象: 展覧会チケットをお持ちの方
 受付: 各日とも先着順/当日午前10時より1階受付にて入場整理券を配布します。
 (ただし、3月30日[土]のB1F展示室でのトークは入場整理券は不要です)
 *会場を含む内容変更の可能性がありますので最新情報はHPをご覧ください。
 東京都写真美術館 <http://www.syabi.com/contents/exhibition/index-1807.html>

主催 青幻舎、NADiff、PARCO
 共催 東京都写真美術館

後援 イタリア大使館、イタリア文化会館
 協賛 JET 日欧商事株式会社、NESPRESSO、S.PELLEGRINO